

第3期～第4期の課題と対策について

資料7

(信州医療センター)

| 質問 | 回答 |
|---------------------------|--|
| ①第3期中期計画期間において、積み残しとなった課題 | 1. 収支改善、経営基盤の強化 2. 医療体制の維持(産科、二次救急) 3. 医師をはじめとする人材の確保 |
| ②第4期がスタートして3ヶ月の現在における課題 | 4. 延入院患者数の減少傾向 5. 医療機器の故障等に伴う更新対応 |
| ③①②への対策 | 1. 収益の向上(DPC入院期間Ⅱ以内退院率の向上、人間ドック受診者の増など)、費用の削減(委託費の見直し、診療材料の共同購入によるコスト削減など) 2. 産科医の確保、県や須高地域市町村を交えた検討(産科)、当直医の確保(二次救急) 3. 本部事務局と連携した計画的な人材の確保 4. 救急患者の積極的な受入の継続 5. 慎重な更新判断、収支改善による投資財源の確保 |

第3期～第4期の課題と対策について

(こころの医療センター駒ヶ根)

| 質問 | 回答 |
|---------------------------|--|
| ①第3期中期計画期間において、積み残しとなった課題 | 1. 子どものこころ総合医療センター事業 2. 職員給与費率の抑制(100%以内) 3. 病床利用率の目標未達(81%) |
| ②第4期がスタートして3ヶ月の現在における課題 | 4. 子どものこころ総合医療センターに係る事業費 5. 精神科地域包括ケア病棟入院料の継続 |
| ③①②への対策 | 1. (子どものこころ総合医療センター)県関係課及び本部との協議継続。上半期中には方向性決定 2. (精神科地域包括ケア病棟入院料)外部コンサルを活用し、シミュレーションを元に9月末まで継続的に検討 |

第3期～第4期の課題と対策について

(阿南病院)

| 質問 | 回答 |
|---------------------------|--|
| ①第3期中期計画期間において、積み残しとなった課題 | 1. 医師不足(県派遣に頼らない機構採用常勤医師の確保) 2. オンライン診療の拡大(診療所以外での活用) 3. 経営努力の成果が、病院・職員に還元されない |
| ②第4期がスタートして3ヶ月の現在における課題 | 4. 老朽化した医療機器の頻繁な故障の発生 5. 高齢者に対する地域ぐるみの支援が不十分 6. 今後の下伊那南部地域の医療に関する町村との連携 |
| ③①②への対策 | 1. 有効な手立てが見つからない 2. 当院が施設医を務める高齢者施設でのオンライン診療導入 3. 経営努力の成果を、病院・職員に還元できる仕組み 4. 医療機器更新のための運営費負担金の増額 5. ACP(人生会議)について、地域と共に学ぶ体制を構築中 6. 町村との意思疎通の機会の確保 |

第3期～第4期の課題と対策について

(木曾病院)

| 質問 | 回答 |
|---------------------------|---|
| ①第3期中期計画期間において、積み残しとなった課題 | 課題なし |
| ②第4期がスタートして3ヶ月の現在における課題 | <ol style="list-style-type: none">分娩体制について小児科の診療体制について人材の確保救急外来受診の適正化 |
| ③①②への対策 | <ol style="list-style-type: none">外来診療体制の維持及び産後ケアの充実診療体制を維持できるよう、県、信州大学、県立病院機構含めて検討中拘束体制の見直し等による勤務環境の改善及び高校生医療体験やサポートスタッフの活用等による医療スタッフの確保策の実施 |

第3期～第4期の課題と対策について

(こども病院)

| 質問 | 回答 |
|---------------------------|--|
| ①第3期中期計画期間において、積み残しとなった課題 | 1.経常黒字の維持 【医業収支比率】令和6年度目標:82.5% 実績:73.8% 【病床利用率】 令和6年度目標:79.6% 実績:68.6% 2.診療材料の調達支援・共同購入を活用した、価格交渉等による診療材料費の削減 3.委託業務の仕様変更、委託範囲の見直し等による委託経費の削減 |
| ②第4期がスタートして3ヶ月の現在における課題 | 4.医療の質及び病院機能向上のため、病院機能評価受審を行い質改善活動を継続 5.三次医療圏を超えた患者ニーズに対応するため、小児補助人工心臓治療の実施体制整備と装置導入を検討 6.多様化する患者家族ニーズに応じた療養環境の改善 |
| ③①②への対策 | 1.長野赤十字病院小児循環器外来への医師派遣、小児二次救急医療輪番への参加 2.NHA選定品の採用率向上のための院内調整の継続 3.委託業務仕様変更・範囲見直しの継続・拡大 4.患者(職員)満足度調査の実施、及び病院機能評価受審(12月予定) 5.対応するスタッフへの教育、長期入院となる療養環境の整備 6.第1病棟、第2病棟、北4階病棟の改修工事の実施 |

第3期～第4期の課題と対策について

(信州木曽看護専門学校)

| 質問 | 回答 |
|---------------------------|---|
| ①第3期中期計画期間において、積み残しとなった課題 | 1. 受験者数及び入学者数の減少 |
| ②第4期がスタートして3ヶ月の現在における課題 | 2. R7入学者数は17名で充足率は56.6%と低かった。 3. オープンキャンパスの参加者数は、1回目が10名(R6:19名)と少なく、2回目は申込21名(R6:16名)と若干増えている。 |
| ③①②への対策 (1～3に対するもの) | ・専門実践教育訓練講座の指定 ・令和8年度から社会人入学試験を実施 ・在学生による出身高校訪問事業を実施(R7:7名参加) ・高校訪問先の追加 ・指定校推薦追加及び推薦基準の評定値見直し |

第3期～第4期の課題と対策について

(本部事務局・本部研修センター)

| 質問 | 回答 |
|---------------------------|--|
| ①第3期中期計画期間において、積み残しとなった課題 | 1. 業務運営の改善及び効率化(本部事務局) 2. 信州医師確保総合支援センター分室としての県との連携の強化(研修センター) |
| ②第4期がスタートして3ヶ月の現在における課題 | 3. 本部事務局のガバナンスの強化(本部事務局) 4. 信州医師確保総合支援センター分室としての役割を最大限發揮するための今後のあり方について、県と協働して検討を行うこと。(研修センター) |
| ③①②への対策 | 1. 機構未来プロジェクトによる取組の推進 (本部事務局) 2. 県との連携強化のため以下の対策を実施(研修センター) ○医療政策課及び医師・看護人材確保対策課へ実績報告書の提供と内容説明 ○医師・看護人材確保対策課長等の初期研修医シミュレーショントレーニング見学及び意見交換(7月) ○今後、県と定期的な意見交換を予定 3. 機構未来プロジェクトによる強化策の検討(本部事務局) 4. 2と同様(研修センター) |